



志津南学区の健幸かるて（令和7年度版）

【令和7年12月作成】

草津市人とくらしのサポートセンター

地区担当保健師



1.人口構成と世帯数(R7.4.30) ※市と比較して区分割合が高い項目に着色

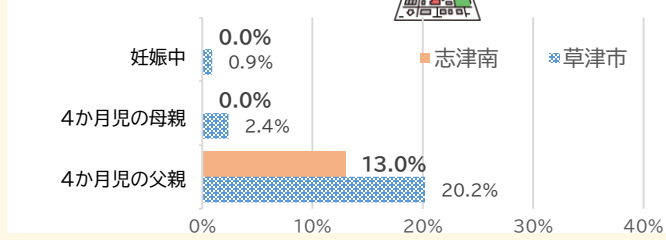
年齢区分	0～14歳		15～64歳		65歳以上		計(人数)	世帯数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
志津南	2,482	17.4%	9,318	65.1%	2,505	17.5%	14,305	6,323
志津南	1,275	18.7%	4,012	58.9%	1,527	22.4%	6,814	2,585
草津	1,630	13.6%	7,604	63.4%	2,752	23.0%	11,986	5,817
大路	1,498	12.5%	8,043	67.1%	2,438	20.4%	11,979	5,748
矢倉	1,143	12.0%	6,107	64.0%	2,286	24.0%	9,536	4,489
渋川	1,283	13.4%	6,491	67.6%	1,827	19.0%	9,601	4,625
老上西	1,406	16.1%	5,471	62.7%	1,855	21.2%	8,732	3,467
老上	2,603	20.1%	8,258	63.7%	2,103	16.2%	12,964	5,823
玉川	1,307	10.5%	8,765	70.5%	2,354	18.9%	12,426	6,793
南笠東	735	9.5%	5,128	66.6%	1,836	23.8%	7,699	4,192
山田	929	11.9%	4,492	57.6%	2,380	30.5%	7,801	3,530
笠縫	1,546	13.8%	6,295	56.3%	3,337	29.9%	11,178	4,963
笠縫東	1,593	14.6%	6,466	59.4%	2,827	26.0%	10,886	4,916
常盤	642	13.3%	2,642	54.7%	1,549	32.1%	4,833	1,913
草津市	20,072	14.3%	89,092	63.3%	31,576	22.4%	140,740	65,184

2.妊娠・出産・子育て(乳幼児健診問診結果)

①育児に対する今の気持ちに近いフェイススケールの割合 (R6年度)

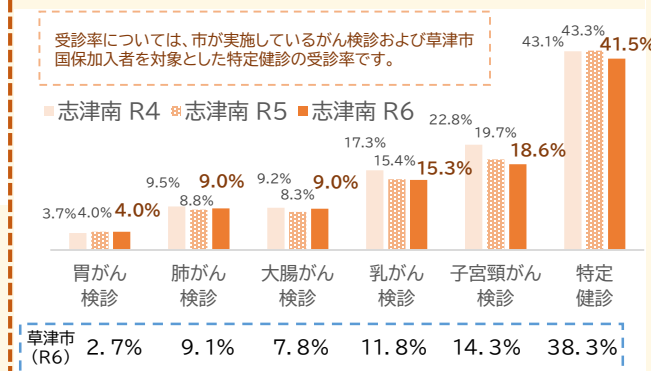
		1	2	3	4	5	6
1歳6か月児	フェイススケール						
	志津南	53.7%	27.8%	16.7%	1.9%	0.0%	0.0%
4か月児	フェイススケール						
	志津南	60.5%	32.6%	7.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4か月児	フェイススケール						
	草津市	65.1%	26.7%	6.7%	0.1%	0.3%	0.2%

②喫煙状況 (R5～6年度:4か月児健診時)

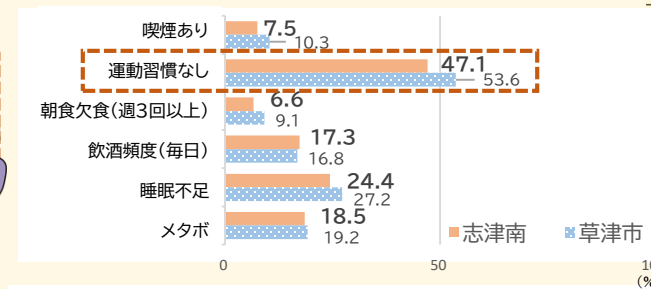


3.からだの健康・生活習慣

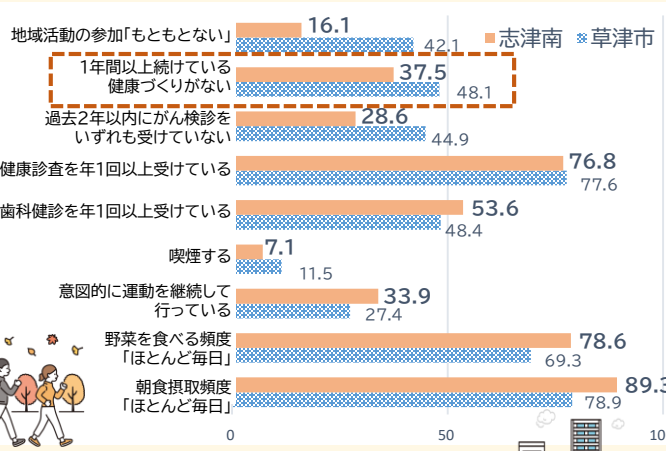
①市が実施しているけん診の受診率推移 (R4～6年度)



②特定健診問診・検査結果 (R6年度)



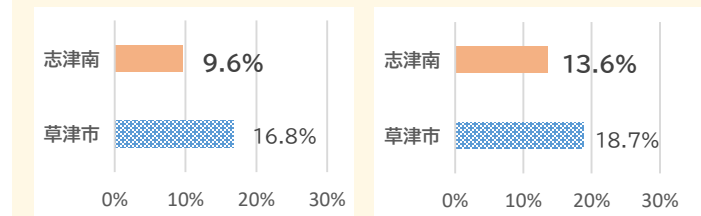
③健康に関するアンケート調査結果 (R4年度) ※対象18～74歳



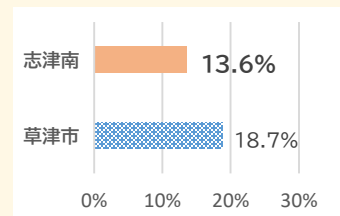
4.高齢者の状況

(※③は、40～64歳の第2号被保険者も含む)

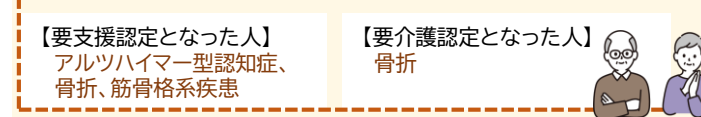
①単身高齢者の割合(R7.4)



②介護認定率 (R7.4)

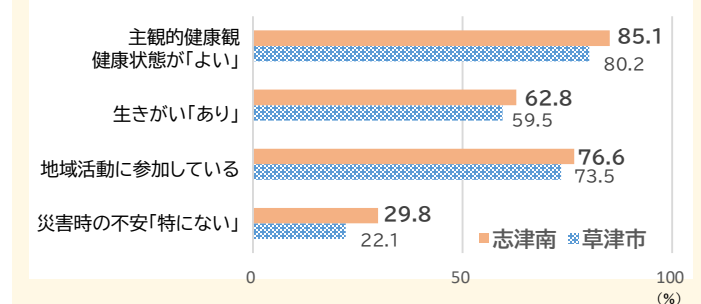


③介護が必要となった原因で最も多い疾患(R1～R2新規申請者)



④介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果 (R4年度)

※対象65歳以上(要介護1～5の認定を受けていない方)



5.地域資源(地区組織活動・社会資源等)

子育てサークル・拠点施設	7か所	スーパー	2か所
地域サロン	9か所	コンビニ	2か所
医療機関	医師: 7か所 歯科: 7か所	ドラッグストア	2か所
薬局	3か所	町内会	14

地域の目指す姿(目標): 志津南学区の住民が、自らの健康に関心をもち、よい健康習慣を継続し、本人が望む生活を送ることができる。

地域の特性と健康課題	健康課題の解決に向けた取組方針・活動状況
・年少人口の割合が高く、学区内でも若草周辺と追分南周辺で人口構成や転入(居)の状況が異なっているエリアです。 ・けん診受診率が市と比較して高く、特定健診の問診や健康に関するアンケート調査からも健康づくりへの関心が高い人が多いエリアです。引き続き自分に合った健康づくりに取り組む必要があります。 ・介護保険新規申請原因疾患は要支援認定・要介護認定ともに骨折が多く、坂の多いエリアであるため、転倒・骨折予防や閉じこもり予防が必要です。	・学区住民の生活習慣(食生活や運動習慣、飲酒状況等)の把握を進め、あらゆる世代の人が自身の健康に関心をもち、よりよい生活習慣をもてるよう、まちづくりセンターでの健康測定や地域サロンでの健康講座、企業と協働した健康測定会を実施しています。